

志摩市人口ビジョン(案)及び志摩市創生総合戦略(案)に関する意見募集結果について

**【意見募集の期間】**

平成27年12月2日～平成28年1月12日（42日間）

**【計画（案）の公表方法】**

志摩市ホームページへの掲載

志摩市情報コーナー（本庁1階ロビー）での閲覧

企画政策課及び各支所窓口での閲覧

**【意見等の提出方法】**

企画政策課及び各支所窓口へ書面（所定様式）の持参

郵送

ファクシミリ

電子メール

**【募集結果】**

意見等の件数： 2件

提出された意見の概要： 別紙の通り

提出された意見に対する市の考え方： 別紙の通り

## 意見 1

### 提出された意見の概要

1. まず市の財政健全化が課題（特に上下水道、市民病院の見直しが第一）。
2. 将来の子供達の為に予算を投入して教育関係の整備をする。
3. 子供を安心して産んで働ける町にして行く。
4. 地場産業に男女で共働きできる環境を作り出す。
5. 市民や子供に地域の歴史、文化を知ってもらう。
6. 地場産業への関わりを教育現場で作る（特に地元の水産高校との連携）。
7. 地場産業が供給している原材料を、2次加工、3次加工と繋いで行く。
8. 地方版ふるさと創生基金を作る。
9. 地場産業の事業者を支援する。

### 提出された意見に対する市の考え方

財政の健全化については、平成26年9月に「第2次財政健全化アクションプログラム」を策定して、取り組みを進めています。志摩市創生総合戦略でも、「まち・ひと・しごと創生」政策5原則の「自立性」及び、「直接性」で、それぞれ「国の支援がなくともそれぞれの取り組みが継続する状態を目指す。」及び、「限られた財源や時間の中で、最大成果を上げる。」としており、財政負担にも考慮した事業実施を進めます。

また、「地方版ふるさと創生基金」のような個別の基金については、現段階では設置しておりませんが、必要があれば財政調整基金をはじめ、地域振興基金やふるさと応援基金などを活用していきたいと考えています。

なお、いただいた個別のご意見については、具体的な施策の制度設計や実施と共に検討していきます。

## 意見 2

### 提出された意見の概要

1. これまでの志摩市の観光戦略には、お客様目線でのマーケティング力が足りない。
2. 「なぜ旅をするのか、何を求めて旅をするのか」という点について、ワークショップや、ブレインストーミングで幅広い議論が必要。
3. 常に緊張感と不安を持って忙しく働いている都会のサラリーマンをターゲットに、彼らの本当のニーズを知る必要がある。
4. 彼らの求める価値を提供するために、スターバックスの経営戦略「第3の場所」が参考になるではないか。
5. 志摩の魅力（彼らに提供しようとする価値）とは、「自然も人情も含めて、地域全体がのんびりしている」ことではないか。ひとつひとつを志摩市の魅力から発想し、どうすればその魅力に繋がられるか考えるべき。
6. 志摩市の魅力を知ってもらうために、マスメディア等の利用の次に、体験、口コミ等を通して共感を引き出す必要がある。
7. 行政は、志摩市創生総合戦略をたたき台にして、商工会、観光協会、金融機関等へ出かけていって、徹底的にディスカッションをする場を作るべき。

### 提出された意見に対する市の考え方

志摩市人口ビジョンに記述のとおり観光関連産業は、志摩市の雇用と産業生産を支える地域の基盤となる産業です。また、宿泊客や外国人観光客が増加しており、今後の成長が見込める分野として重要な産業です。そのため、人口ビジョンでの分析を踏まえて、総合戦略でも多くの具体的な施策が観光に関連するものとなっています。的に取り組むこととしています。

また、事業者や関係団体との幅広い議論に加えて、客観的なデータを踏まえて、具体的な施策を検討・実施していくこととしており、ご指摘いただいた点は、総合戦略の基本的な方向性と一致するものと考えています。